

# 「第23回 SABO体験楽校」を開催！



砂防工事などを体験的に学ぶことにより、砂防事業に対する認識を深めてもらうことを目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。第23回となる今年の「SABO体験楽校」では、6名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開校期間：令和元年7月30日(火)～8月1日(木)【2泊3日】  
 実施場所：立山砂防事務所、水谷出張所（立山カルデラ内）  
 参加者：富山県立桜井高等学校 1名  
           富山県立富山工業高等学校 5名 計6名  
 主催：国土交通省 立山砂防事務所  
       一般財団法人 富山・水・文化の財団



立山カルデラ砂防博物館見学



天産の湯清掃(協力:松嶋建設㈱)



土砂災害模型実験



無人化施工とCT施工体験 (協力:鶴岡部)



コンクリート打設体験 (協力:丸新志鷹建設㈱)



ドローン操作体験(協力:榊林土木)



ロープ作業体験 (協力:新栄建設㈱)



生コンプラント見学 (協力:水谷生コンクリート事業(協))



枕木交換体験(協力:富山地鉄建設㈱)



### 参加された生徒の感想

- 立山の事や現場での作業について学ぶことができました。
- この体験を今後の学校生活などで活かしていきたいです。
- 今回学んだ事を活かして、これからの進路選択の参考にしたいです。
- 沢山の体験ができ、とても有意義な体験楽校となりました。
- 3日間という短い期間で貴重な体験が沢山できました。